



広報資料

室蘭港及び周辺海域の津波防災情報を作成しました！ ～船舶の津波避難のために～

海上保安庁は、内閣府が公表している海溝型地震モデル、日本海溝(三陸・日高沖)を基にしたシミュレーション結果により、室蘭港及び周辺海域の「津波防災情報図」を作成し本日公開しました。

海上保安庁では、津波被害から船舶をはじめ人命・財産を守るため、巨大地震発生時を想定した避難計画に役立つ「津波防災情報図」を作成しています。

北海道の「津波防災情報図」は、令和4年に公表した「函館港」、「苫小牧港」、「釧路港」と各周辺海域につづき、新たに「室蘭港」及びその周辺海域を作成し公表するものです。

「津波防災情報図」には、地震発生後の津波の到達時間、津波の進入による最大水位上昇と引潮による最大水位低下、各地点における津波の進入・引潮時の最大流向・流速等の情報が掲載されており、船舶の避難計画策定に必要な参考資料として活用できます。

○津波防災情報図の入手方法

津波防災情報図は下記の Web ページで公開しています。

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAIYO/tsunami/index.html>

津波防災情報図とは

津波防災情報図とは、内閣府から公表された巨大地震等の断層モデルに基づいて地震・津波をシミュレーションして得られた津波の挙動を図とアニメーションにより表現したものです。

アニメーションは、地震発生から津波が襲来してきたときの海面の上下変動と流れの変化を動画にまとめたものです。

図には進入図と引潮図の2種類あります。

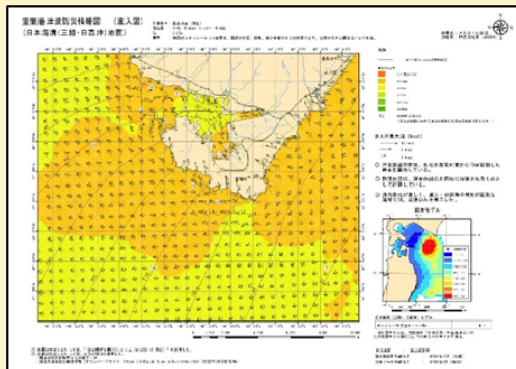
進入図は満潮の時間帯に津波が襲来したと仮定し、海面が最も高くなった時の高さや最速の流れを記載した図です。

引潮図は干潮の時間帯に津波が襲来したと仮定し、海面が最も低くなった時の高さや最速の流れを記載した図です。

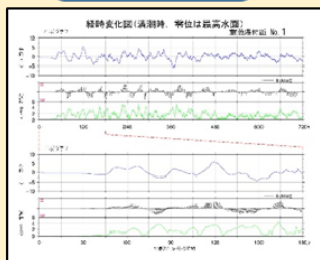
なお、進入図には地震発生から津波が到達するまでの時間が読み取れるように、等時線を記載しています。また、港の入り口や岸壁前面等の主要な地点における海面の上下変動と流れの向きと速さをグラフ化した経時変化図も作成しています。

最高水面

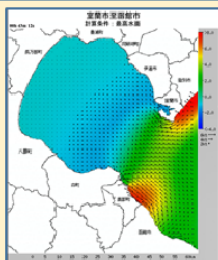
進入図



経時変化図

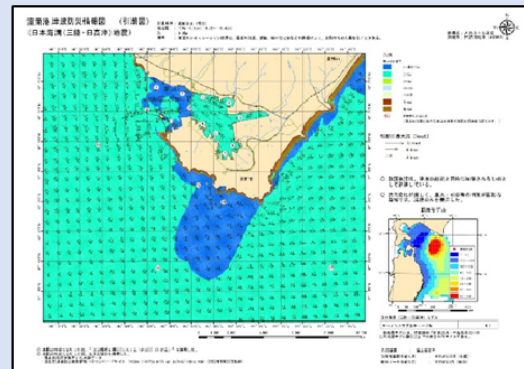


アニメーション

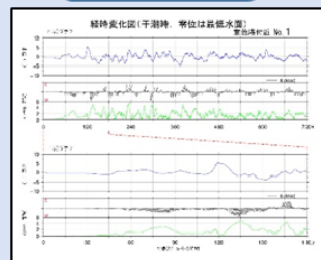


最低水面

引潮図



経時変化図



アニメーション

